



ぶらりらいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 199

★利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の()の数字は請求記号です。)

問) 昔の「こどもの日」の様子わかるものはないか。

答) 「こどもの日」をキーワードにして検索し、「目次」から本の内容を確認します。

図書 → ことばから探す → こどもの日 → 23件

『子どもに伝えたい年中行事・記念日』(386/H81) 開架

『昔の子どものくらし事典』(384.5/H85) 開架

5月5日は「こどもの日」と呼ばれるようになったのは、昭和23年(1948)に「国民の祝日に関する法律」が制定されてからで、それ以前は「端午の節句」と呼ばれていました。以前の様子を知りたい場合は、「端午の節句」で検索してみましょう。

図書 → ことばから探す → 端午の節句 → 29件

『目でみる子どものあそび百科 4』(781/Ta16/4) 開架

『こっちの水はにーがいぞ』(384.5/Sa36) 開架

その他に「節句」「年中行事」「歳時記」というキーワードで探すこともできます。

『昭和子ども歳時記』(384.5/N31) 開架

『昭和っ子』(384.5/Su96) 開架

また、図書室のパソコン上で、当時の子どもたちの様子を写した写真を見ることができます。

全資料検索 → 映像・音響資料に → 端午の節句 → 7件(うち写真5件)

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。

「五月五日菖蒲湯仕候」



現在、「こどもの日」として国民の祝日になっている5月5日は、古来より、男児の健やかな成長を祈る「端午の節句」として親しまれてきました。男の子のいる家では、こいのぼりを立てたり、武者人形を飾ったりしてお祝いをします。

また、この日には「菖蒲湯（しょうぶゆ）」という風習があり、菖蒲を入れたお風呂に入ります。「五月の節句に菖蒲を湯の中に入れて浴すれば邪気をはらう」という中国の古事にもとづくもので、菖蒲の香りが災いを払い、夏を健康に過ごせるといわれています。

「五月五日菖蒲湯仕候（つかまつりそうろう）」ということばをご存じでしょうか。毎年5月5日に、各銭湯の入口でよく見受けられる宣伝句です。銭湯では端午の節句に菖蒲湯が提供されるため、この宣伝句を見ると「5月だなあ」と感じる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

『湯屋番五十年 銭湯その世界』（閉架 673/H92）では、菖蒲湯の日の銭湯の喧噪ぶりが湯屋番の目線から生き生きと描かれています。子どもの頃に、銭湯で友人たちと菖蒲の茎で笛を作ったり、葉を頭に巻いたりして遊んだ思い出のある方もおられるでしょう。

沢村貞子さんの著書『私の浅草』（閉架 E778/Sa95）には、幼い頃、母親と行った銭湯の菖蒲湯の思い出がつづられています。菖蒲の葉を小さく折りたたんで顔を磨くなどして、菖蒲湯を楽しむ人びとの様子が描かれているほか、当時は「菖蒲の葉をまげにまいたり、矢羽根の形に切ってかんざしのようにさせば頭痛が治る」ともいわれていたようです。

夏の季語としても知られる「菖蒲湯」。昭和43年には2,687軒を数えた東京都内の銭湯も、平成25年には706軒と大幅に減少してしまいましたが、近年では「TOKYO SENTO SEASONAL EVENT」の1つ、「SHOBU-YU (sweet flag bath)」として、日本の文化を楽しみたい外国人観光客に向けたPRも行われています。

今年の5月5日はぜひ、お近くの銭湯に出かけて、菖蒲湯を楽しんでみませんか。

参考リンク：「東京銭湯」 <http://www.1010.or.jp/>

—図書室からのお知らせ—

図書室内のハングオール・15番書棚で、「昭和のポスター」に関する資料を紹介しています。どうぞご利用ください。

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ NO. 199

2017年4月20日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1